



高めよう 地域協働の力!

大沢地域資源保全組合
組合長 齊藤 文一郎



? 田家の田植え風景



大沢保育園（山本佳代園長 園児 53人）は13日、滝沢市大沢堰合の同園隣にある水田3aで田植え体験を行い、農業の大変さを学んだ。年長の園児8人と住民5人が参加。水田を管理する藤倉恭一さんは苗を2〜3cmの深さに植えるなどコツを教えた。園児は一斉にはだして泥の中へ。服を黒くし、ぬかるみに足を取られながら手植えに励んだ。

吉田裕衣香ちゃん（5）は「真つすぐに植えられた。収穫して食べるのが楽しみ」と微笑みを広げた。植えた品種はもち米のヒメノモチで、秋に収穫体験を行う。藤倉さんは「植えた後の手直しが要らないほど上手。元気に育つでしょう」と目を細めた。

岩手日報（5月15日）より原文

6月5日水路、農道、ため池の草刈りと育成会・子供会の花植え及びクリーン作戦でゴミ拾い。



お知らせ

地域の資源である農地や農村環境を保全し、次世代へ引き継いでいくためにも小規模ですが、農地の区画拡大及び湧水処理の整備により耕作の効率化を図り、将来にわたって営農の維持を目的とした、県の補助事業【いきいき農村基盤整備事業】に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。